令和５年度　特別の教育課程（立川市民科）の実施状況等について

１．学校名　　　　　　　　　立川市立　第七小　学校

２．令和５年度　学校における自己評価（箇条書きでご記入ください。）

|  |  |
| --- | --- |
| 立川市民科の取組の効果 | ・地域の方たちの協力で、体験的な内容に取り組むことができた。  ・新たな取り組みとして、学習発表会キャリア教育の内容を盛り込み、企画、発表することができた。 |
| 立川市民科の取組の課題 | ・２，３年計画で「総合的な学習の時間」と「立川市民科」の内容を精査し、体系的にカリキュラムを考えていく必要がある。  ・地域との連携を深めるために、中心的に活動する渉外担当者を決定する必要がある。 |

３．令和５年度　学校評価に係る共通項目のうち

①対象：児童・生徒

項目：⑫立川市民科では、自分で立てた課題について、情報を集め、整理・分析し、まとめ・表現することができた。

（割合）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| そう思う | 概ねそう思う | あまりそう思わない | 思わない | わからない |
| ４８.７％ | ３９.９％ | ２.５% | １.３％ | ７.６％ |

②対象：保護者

項目：⑪立川市民科では、探究的な学びの実現に向けて組織的に取り組んでいる。

（割合）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| そう思う | 概ねそう思う | あまりそう思わない | 思わない | わからない |
| ５４.１％ | ３２.４％ | ０% | ０％ | １３.５％ |